八碁連だより

６月号　　第３２２号

発行日　　平成３０年６月１日（金）
発行所　　八王子囲碁連盟
住　所　　八王子市大楽寺４５６－１９
電　話　　０４２－６２４－５２４９
発行者　　吉澤　實
編集者　　木河　専

日野新選組まつり　演武（今年５月　日野市にて）

http://yasu1120.la.coocan.jp/hatigoren.html

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は、八王子市内に居住する囲碁愛好者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるよう機会を提供し、福祉の増進に寄与するとともに、棋力の向上を図ることを目的とする。

同好会囲碁旅行

南大沢囲碁同好会会長　武中章三

ほぼ毎年実施している囲碁一泊旅行を、４月１９日～２０日にかけて実施した。
ＪＲ橋本駅近くの路上から宿泊ホテルまでの直行バス便で、移動がないので年寄りには非常に楽である。
宿泊ホテルは、伊豆の熱海の手前 湯河原で、オーシャンビユーはないが、千歳川という名の川のせせらぎが夏のような暑さをしのがせてくれた。

五段から１級までのメンバー８名が揃い、ひと風呂浴びた後、早速対局を実施する。
囲碁対局戦は、参加メンバー総当たり戦で、旅行直前日の同好会持ち点でハンデを決める。優勝者と準優勝者には、参加費用から賞品が授与される。賞品を取得できなかったメンバーには、残念賞として参加賞を配布している。

面白い企画として、参加メンバーを競争馬に見立てて、１位と２位を当てるゲームを毎回実施している（競馬では連勝複式と云うらしい）。一口２００円で最低５口を申込むルールにして、囲碁の実力が低いメンバーでも楽しめる工夫をしている。今回は４６口の申込が集まった。全額一人占めの可能性もある。日頃の同好会対局で結果の予想はつきそうであるが、いつも番狂わせがある。投票券の売れ行きは、一番多いのが７口、大穴の１口は７件あった。夕食までに一人当たり４～５局を終えた状況で、４勝が二人出た。
予想は４口であった。翌日、朝食後の対局で、４勝の二人が２敗し、前日３勝の一人が２勝し計５勝となり優勝者となった。４勝３敗が三人となり、年上の参加者が準優勝者となった。勝ち馬の当選は予想の一番多い７口で、各当選者に配当した。

夏日を思わせる気候で、昼食時のビールの上手さは格別であった。こうして、楽しいひと時を過ごし、帰りのバスに乗車し、各々帰路についた。

第２８回　活きいき囲碁地区大会のご案内

台町大会

日時　　平成30年６月３０日（土）　受付　午前9時00分～9時30分
会場　　東浅川保険福祉センター第２～５集会室　東浅川町551-1 電667-1331
申込先　会長　白石　好伸　　〒192－0902　上野町２０－５
　　電話・Fax　６２３－３５２１
申込期限　６月１７日
主催　　台町囲碁同好会
後援　　日本棋院　八王子市　八王子市教育委員会
参加資格　市内に居住している囲碁愛好者
参加費　　会員１，０００円（弁当代を含む）非会員　１，２００円
競技方法　クラス別に行い、入賞者には賞品を進呈します。
申込方法　同好会の会長を通して申し込んでください。

日時、会場が変更されました

第２８回　活きいき囲碁大会の結果

恩方大会　　４月２２日(日)　於　恩方市民センター　　参加者　１０１名

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	北野	長房	川口	南大沢	非会員	初心者	**合計**
10	37	9	5	5	2	2	1	19	3	4	1	3	101

Ａ組　２３名
優勝：山本数英(川口)/六段→六段Ａ　準優勝：磯部信広(中野)/六段　３位：青山格(大和田)/七段
Ｂ組　２０名
優勝：望月成一(浅川)/五段→五段Ａ　準優勝：殿崎正明(浅川)/四段　３位：野沢市郎(恩方)/五段
Ｃ組　２７名
優勝：佐田恵吉(浅川)/二段→三段　準優勝：大房賢次(長房)/三段　３位：小西弥一(浅川)/三段
Ｄ組　３１名
優勝：中村勝喜(長房)/1級→初段　準優勝：峰尾孝年(長房)/４級　３位：刑部守彦(長房)/３級

元八王子大会　　５月６日(日)　於　元八王子市民センター　　参加者　９３名

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	北野	長房	川口	南大沢	非会員	初心者	**合計**
4	22	19	7	7	1	0	0	18	6	4	0	5	93

Ａ組　２２名

優勝:小嶋英基(長房)/七段　　準優勝：入山慧三(元八)/六段　　３位：磯部信広(中野)/六段

Ｂ組　２４名

優勝：棚原英治(元八)/四段→四段Ａ　準優勝：福本秀司(長房)/三段　３位：渡辺恵介(川口)/三段

Ｃ組　２２名

優勝：麻生守弘(元八)/1 級→初段　準優勝：浮邊廣行(南大沢)/初段　３位：森田良則(大和田)/初段

Ｄ組　２５名

優勝：奥　正之(恩方)/５級→４級　準優勝：中込義弘(長房)/２級　３位：中村順亮(初心)/６級

案内人連絡会コーナー

○●　６月２４日（日）に第７回八王子市子ども囲碁大会が開催されます　●○

放課後教室などでご指導されている案内人の方に、子供たちの参加呼びかけをお願いします。

① 昨年から全員の級位を認定しています。

９路盤で３０級～２２級、１３路盤で２２級～１７級、１９路盤で１７級～１級の

日本棋院級位認定状を発行することになります。

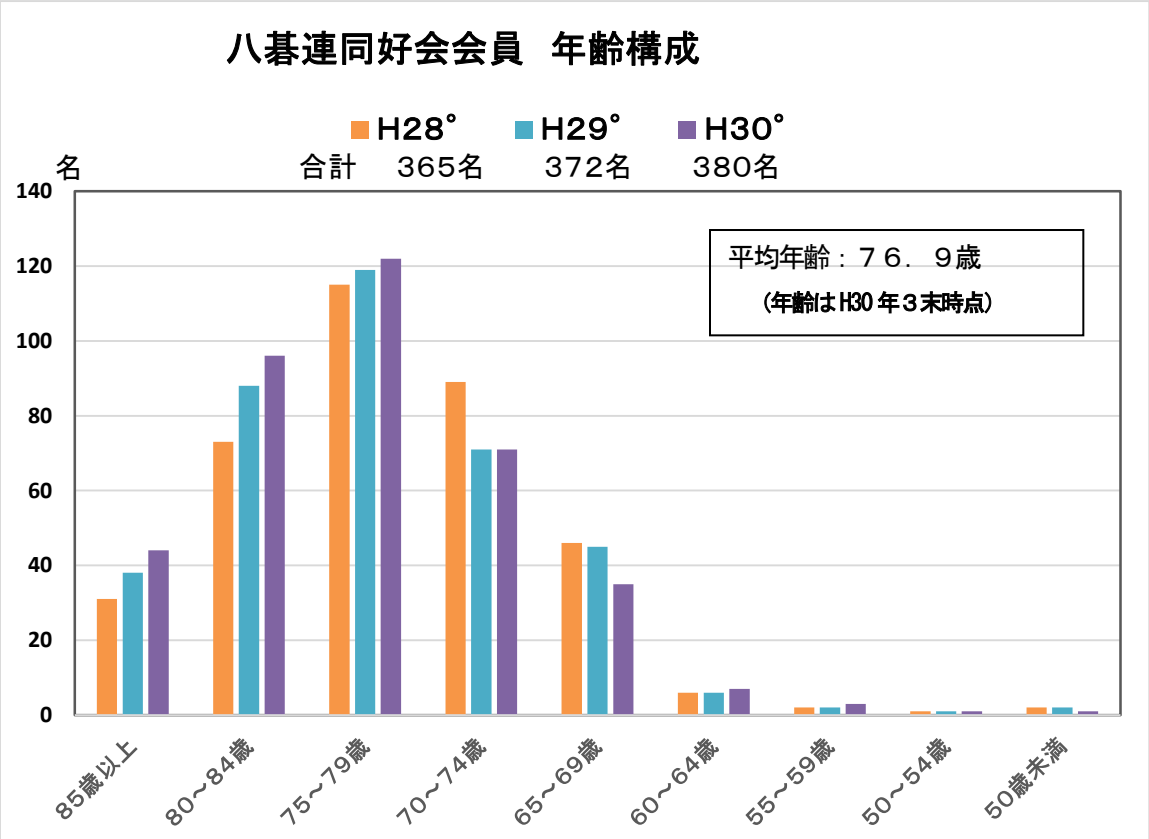
昨年参加した子どもは、より上のクラスに挑戦するように勧めて下さい。

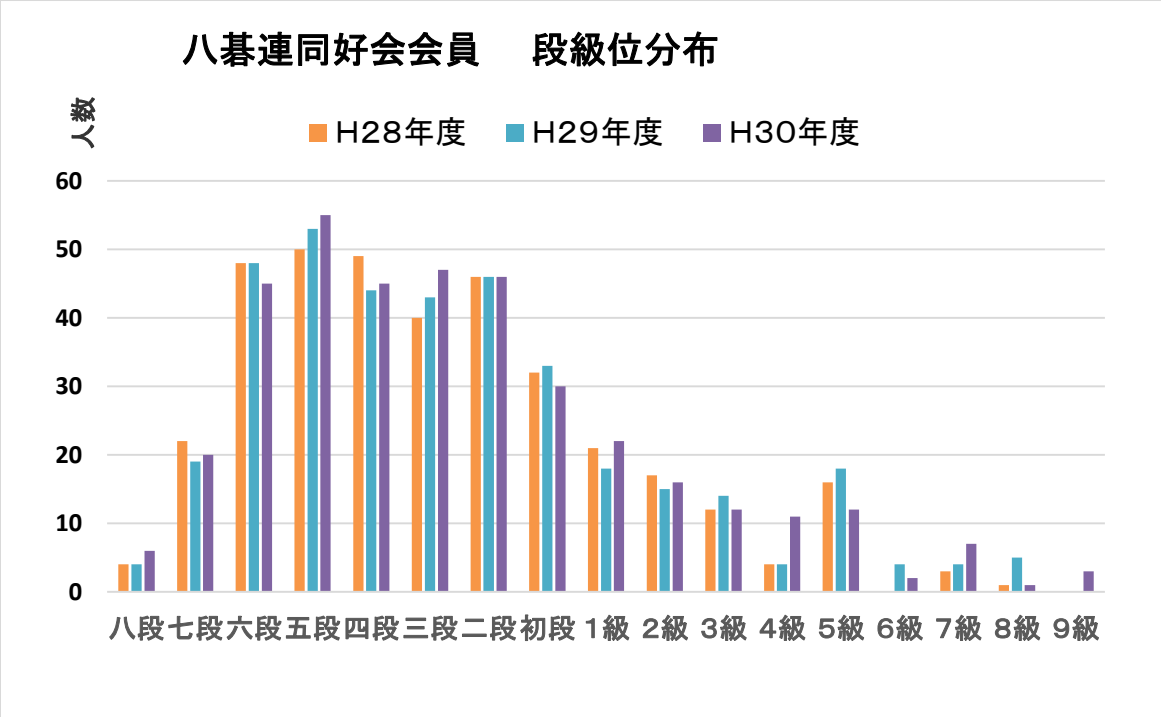
② 優勝者には教育長名の賞状、全員に参加賞を差し上げます。

◆八碁連同好会会員現況（Ｈ３０年４月現在）

同好会会員数					研修部在籍数		
同好会名	H28 年度	H29 年度	H30 年度	前年比	H28 年度	H29 年度	H30 年度
浅川	４１	４０	４０	０	８	７	１０
恩方	４８	４８	５１	３	６	５	１３
元八王子	２６	２４	２９	５	７	７	９
中野	２３	２８	３０	２	１	０	０
大和田	３０	２９	３４	５	５	６	５
石川	２４	２４	２０	－４	１	１	１
台町	２１	１６	１８	２	１１	９	７
北野	３９	３５	３１	－４	３	３	３
長房	４６	６１	６１	０	１７	２４	２５
川口	２７	２９	２６	－３	４	５	５
南大沢	４０	３８	４０	２	０	０	０
合計	３６５ 名	３７２名	３８０名	８	６３名	６７名	７８名

※初心者教室（H30 年度）：３２名


八碁連同好会会員　年齢構成
H28°
H29°
H30°
名
合計　365名　372名　380名
140
120
100
80
60
40
20
0
平均年齢：７６．９歳
（年齢はH30年３末時点）
85歳以上
80～84歳
75～79歳
70～74歳
65～69歳
60～64歳
55～59歳
50～54歳
50歳未満


八碁連同好会会員　段級位分布
人数
H28年度
H29年度
H30年度
60
50
40
30
20
10
0
八段
七段
六段
五段
四段
三段
二段
初段
1級
2級
3級
4級
5級
6級
7級
8級
9級

投稿

囲碁と人情噺の「文七元結」　　大和田囲碁同好会　成田　滋

三省堂大辞林の第三版には、「碁に凝ると親の死に目に逢わぬ」という言葉の解説があります。極めて重大なことでも忘れてしまうほど夢中になりやすいものが囲碁だ、というのです。もし、こんなことになったら親族から総スカンをくらうでしょう。

「文七元結」という人情噺にも囲碁に夢中になる殿様と手代が登場します。この人情噺は古典落語の名作ともいわれています。文七は日本橋横山町のべっこう問屋・近江屋卯兵衛の手代です。手代は、番頭と丁稚との中間にある使用人のことで、大事な仕事例えば、注文取りや配達、集金などをまかされます。さしずめ営業マンといったところでしょう。この成績が良いと将来、番頭への道がひらけるのです。

江戸時代、隅田川の東岸は小梅村といわれ、梅の名所だったようです。そこに水戸藩の下屋敷がありました。文七は下屋敷へ五十両の掛け取りに出掛けます。ところが殿様が大の囲碁好き。文七は夜遅くまでつきあわされます。対局が終わり、近江屋に帰る途中、文七は吾妻橋でスリにでくわいます。懐に手をやると五十両がありません。文七は途方に暮れ橋から身投げしようとします。

そこに通りかかったのが本所、達磨横町に住む左官の長兵衛です。腕はいいのですが博打に凝り、仕事もろくにしないので家計は火の車。博打の借金が五十両にもなり年も越せません。それを知った十七になる娘のお久が自分で吉原の佐野屋に奉公にいくのです。家に帰ると後添いの女房、お兼が泣いています。それをきいて長兵衛は佐野屋に出掛け、女将さんからきつく意見され、五十両を借りて家に帰ろうと吾妻橋にやってきます。

どうしても金がなければ身投げするよりないと文七が云うので、長兵衛は迷いに迷った挙げ句、これこれで娘が身売りした大事の金だが、お前の命には代えられないと、受け取りを断る文七に五十両の金包みをたたきつけます。さあ、家に帰るとお兼と夜通し喧嘩のしっ放し。それはそうでしょう。

その頃、近江屋では文七がいつまでも帰らないので大騒ぎです。実は碁好きの文七が殿さまの相手をするうちに、うっかり五十両を碁盤の下に忘れていったのです。幸い水戸の屋敷から近江屋へ金子が届けられます。そこに長兵衛から五十両を貰った文七が帰ってきます。文七は貰ったお金だと言い出せず、近江屋から頂いたといいます。番頭が顛末を話すと文七は仰天して、吾妻橋の一件を残らず話すのです。

近江屋の旦那は、世の中には親切な人もいるものだと感じ入ります。そして吉原で奉公を始めたお久を身請けすることにします。五十両を長兵衛に返すとそこに駕籠に乗せられてお久が帰ってきます。大喧嘩をしていた長兵衛とお兼はお久をみて大喜び。文七は身寄りのない手代です。旦那は長兵衛のような心の優しい人に親代わりになって欲しいと頼みます。やがて文七はお久を娶り、マゲのもとどりを結ぶ紙ひもの元結（もっとい）の店を麹町に開くという噺です。　人情落語の秀作といわれます。

詰碁ワールド

問題１　黒先白死

考えてから正解図を見てください

問題２　黒先白死

問題１　失敗図

問題２　失敗図

問題１の正解図

問題２の正解図

編集後記　　八碁連だより５月号より編集のバトンを引き継ぎました。５月号をなんとか発刊しほっとしたのもつかの間、すぐにまた６月号編集が始まりデータ収集や編集・加工など慣れない作業に悪銭苦闘しています。
魅力ある八碁連だよりをお届けするためには皆様からの話題の提供・投稿などが欠かせません。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
最後に、前任の中谷様、長い間八碁連だより発刊ご苦労様でした。